

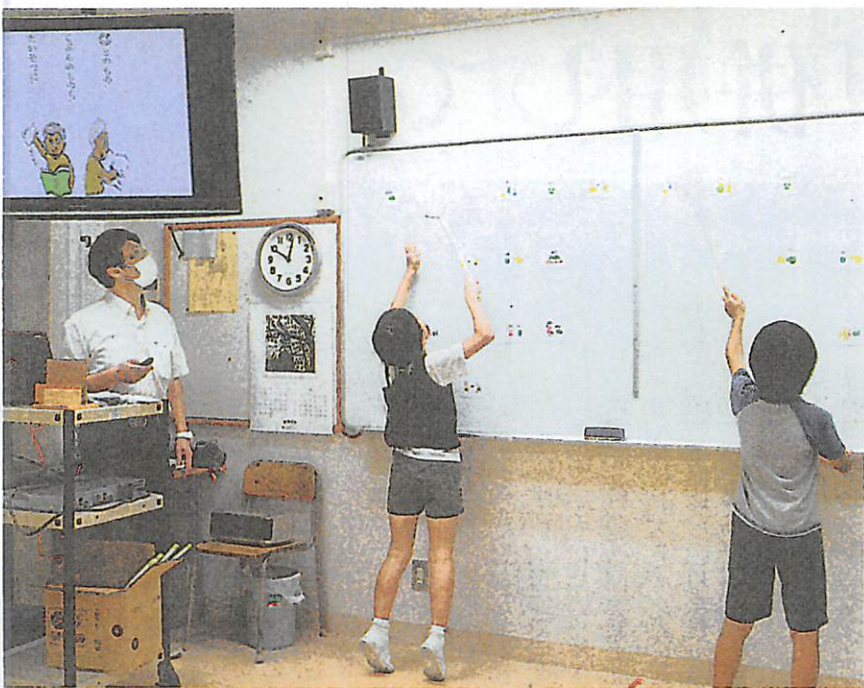
# 道徳 遊びながら学ぼう

## 「よいこかるた」 西山教務主任が考案

日進市岩崎町の北小学校青葉分校の西山淳教務主任が、楽しく遊びながら基本的な行動規範や生活習慣が学べる幼児～小学生対象の「よいこかるた」を考案した。五月から授業に取り入れており、子ども们的心をつかむ読み札は、児童たちからも好評だ。(平木友見子)

同分校は、児童養護と児童心理治療の複合施設「中日青葉学園」の敷地内にある特別支援学級。

「よいこかるた」は、全四十四枚。「ふわふわのあたたま」など、道徳の学習指導要領に



### 日進・北小青葉分校

沿った内容になっている。

西山教務主任は、群馬県出身。同県民なら誰もが知る郷土かるた「上毛かるた」に、幼いころから親しんでおり、前任の中学校で社会科を教えていたときも、オリジナルの歴史人物かるたは、生徒たちに人気だったという。

そこで同分校に着任した昨年、楽しく自然に基本的なルールを身に付けてほしいという願いを込めて、「よいこかるた」を製作。上毛かるたのルールをヒントに、「クールダウン札」や「スペシャルよいこ札」などのボーナス札も作った。勝負に熱くなった子

とまに長せて落ち着かせるために、「まけてもね おこらずなかず れいせい」に「の札も入れた。

三日には、四年生の自立活動の時間にかるたを導入了。児童六人は、二チームに分かれ、順番にハエたきを持って準備。テレビ画面に読み札が映ると、一目散にホワイトボードまで駆け寄って張られた札を取り、「取った!」「やった!」と喜びながら、大きな声で文面を読み上げた。

児童たちの反応を見た西山教務主任は「思った以上に生徒たちの理解が早く驚いた」と目を丸くし、「習慣付けてやっていくうちに、内容を覚えてくれたら」と話していた。

①テレビ画面に映し出された札と同じ札をハエたきでとる児童たちと、かるたを考案した西山教務主任②西山教務主任が作った「よいこかるた」=いずれも日進市岩崎町の北小青葉分校で

